AEFA
フレンド会報14号
発行：2012年11月11日

認定NPO法人　アジア教育友好協会
Asian Education and Friendship Association
本部:〒105-0014　東京都港区芝3-3-10　芝園オーシャンビル8F
TEL　03(6426)0720／FAX　03(6426)0721
Email:asia@nippon-aefa.org

AEFAの3層構造理念

ベトナム　学校建設100校　達成
～　日本財団様、篤志家の方々、企業・団体の皆様のご支援のお陰で　～

本年、皆様からのあたたかい支援により、ベトナムでの学校建設数は100校を超えました。引き続き現地政府・学校の先生方ならびに地域の人々と協力しながら、アジアの子どもたちの学習環境の整備のために、ご支援者とともに頑張ってまいります。
一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

◆◇8月～10月ベトナム開校式◇◆

ルオンテーヴィン小学校～坂東眞理子様ご支援～

澄み渡る青空のもと、ルオンテーヴィン小学校開校式が行われ、昭和女子大学学長坂東眞理子様をはじめ関係の皆様がご出席。ホイアン市長、谷崎泰明在ベトナム日本国大使も駆けつける盛大な開校式となりました。坂東学長が「家族を喜ばせ、社会を支え、そして世界の平和を担う人になってください」と子どもたちにお祝いのメッセージを贈ると、児童代表は「一生懸命勉強し、新しい学校を守っていくことを約束します」と決意をこめて感謝の気持ちを語ってくれました。(8月24日)

（左）坂東学長（右）ルオンテーヴィン小校長

ベトナムで100校記念となるルオンテーヴィン小学校開校式には、ベトナムでの学校建設で多大なるご支援をいただいている日本財団・尾形理事長もご出席。「教育こそが日本の戦後復興のポイントであり、教育こそが国家の礎である。」とご挨拶。ベトナムにおいて学校建設プロジェクトを推進している熱い思いや、子どもたちへのメッセージを述べられました。

ゴックトゥ小学校ダックトン分校
～剱持昭司様・榮子様
（日本財団「夢の貯金箱」様）ご支援～

「学校は勉強と同時に自分を磨く場。将来社会のために働き、世界の国々の人と仲良くして下さい。」との剱持ご夫妻からのご挨拶を、校庭に集まった子どもたちは真剣なまなざしで聞いていました。今回のご支援により、全学年が全日授業を受けられる環境が整いました。
（10月2日）

（上）新校舎では4.5年生が勉強しています。

ルホンフォン小学校ダックルン分校
～アースバンク倶楽部様ご支援～

アースバンク倶楽部代表の早川悟史様ご夫妻を迎えての開校式。東日本大震災へのベトナムからの温かいご支援に恩返ししたいとのお気持ちでご支援を決意。ご挨拶では幼少期に出会ったベトナムの友人のエピソードをご披露。村人による民族音楽の演奏もあり、和気藹々とした開校式となりました。（10月3日）

チェウティチン小学校
～株式会社サンキュー
ホールディングス様ご支援～

「世界中にありがとうの輪を広げたい」とのお気持ちで今回が3校目のご支援となるサンキューホールディングス様。開校式は堀口代表取締役社長、吉原取締役、上﨑様がご出席。堀口社長の手品のご披露もあり、子どもたちの笑顔あふれる楽しい一日となりました。
（10月5日）

ひとこと　**ゼロと1の間は無限大である・・一歩を踏み出す力は何か**

数学で学ぶことは０＋１＝１，１＋１＝２、２＋１＝３のごとく、０と１の差は1である。しかし実際の行動におけるゼロと1の差は無限大である。一歩踏み出すことと何もしないこととの間には無限大の差・開き・違いがあるのだ。行動を起こすことで、気持ちが変わり考え方が変わる。そして人生すら変わるのだ。別な新しい人間にもなれるのだ。まさに無限大の差があるのだと思う。この差を飛び越える力は何だろうか。勇気であり、思いやりであり、愛であり、志であろう。一歩踏み出せる人間になることを皆さんに伝えられれば本望である。

その一つのモデルが今立ちあがろうとしている。福島県いわき市の全中学校44校の中学生による「ワンコイン・スクールプロジェクト」である。全員が参加する活動の意義を理解して、受け身から能動への大転換が始まった。これこそが今の日本に必要な動きであろう。

（理事長　谷川　洋）

ベトナム　学校建設第１校目
思い出のパカン小学校（2005年建設）は今・・・

ベトナムにおけるAEFAの学校建設の原点となる第１校目パカン小学校。掘っ立て小屋のような学校から、明るくきれいな学校へと変わりました。村人が熱望した新校舎の建設から７年。学校の成長の様子をご報告いたします。

（上）2005年3月　旧校舎前にて

（右）雨や風が吹き込む教室。
1つの教室で3つの学年が勉強し、お互いに授業に集中できない状態が続いていた。

【2005年建設前】
少数民族カトゥ族の村。国家基準による貧困家庭が100%を占め、飢餓世帯が30%に及ぶ地域。ひとつの教室を1&2年生の複式学級と、3年生とが半分ずつで使用。校舎は荒廃した小屋のようで劣悪な学習環境にあった。

少数民族カトゥ族の長老たち

【2005年9月】
待望の新校舎完成！！
学校の敷地近くにあった数家庭が自主的に住居の移転を申し出て土地を提供。地域住民の熱意・協力の賜物により新校舎が完成。1.2年生と3年生それぞれに教室ができ、学習環境が大幅に改善されました！

授業開始を
知らせる太鼓

【2011年6月】
新校舎ができるまでは半分しか学校に来なかった子どもたちだが、全員が就学するようになった。進学率は50-60%から、ほぼ全員が進級するまでになり、落第率も大幅に低下。村民出身の先生も誕生。学校をきれいに掃除する習慣が身に付き、家でも掃除するようになるなど良い効果があらわれ始めました。

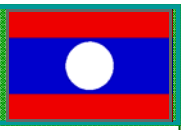
（左より）
AEFA谷川、トン校長先生、日本財団尾形理事長

建設から7年が経過しましたが、今でも校舎を大事に使っています。先日、壁・天井を塗り直し、トイレ・台所の戸やフェンスも修繕しました。村の人たちも学校を守ってくれており、草を刈ったり、割れたガラスを直してくれたりと協力をしてくれています。（トン校長先生談）

【2012年8月】
村人たちと協力して校庭に植えた木も根づき、7年間でこんなに大きくなりました。緑あふれる素敵な学校に成長。教室では子どもたちが楽しそうに勉強する声が響いています。

僕はパカン小学校の2年生。3人兄弟の末っ子です。学校に来るのはとても楽しいよ。毎日いっしょうけんめい勉強してます。

ラオス　ワンコイン・スクールプロジェクト　第2校目
サラワン県　チャンヌア小学校　開校しました！！



2012年5月2日、ラオス・サラワン県サラワン郡チャンヌア小学校にて、開校式が行われました。2009年のラオス・ポンタン校に続いて、日本の子どもたちが支援する「ワンコイン・スクールプロジェクト」第2校目となります。

チャンヌア村は森の奥にあるため、雨季にはぬかるみで大変な悪路となり、建設資材を運ぶトラックが立ち往生。村人と子どもたちが、夜中までかかり、協力し合って資材を運ぶなど、苦労の末の完成に喜びもひとしおです。新しい学校ができるのを心待ちにし、何日間もかけて開校式を準備。

式には、東京都武蔵村山市から教育長・持田浩志先生と、第一小学校鶴田校長先生が参列。「心と心、手と手をつなぎあっていきましょう」と、日本の子どもたちの思いも伝えました。 武蔵村山市立第八小からは、プロジェクトに参加した子ども全員の顔写真。第十小からは、「絆」のメッセージが贈られました。

村人手作りの校舎で、128人の小学生が複式学級で学んでいました。

真っ暗になっても資材運びをお手伝い

チャンヌア校には、新たに若手の先生3名が赴任。ソムディー先生（左）はチャンヌア村出身で、お父さんも先生でした。「自分たちの村を、学校からよくしていきたい」と、使命感と意欲に燃えています。校庭整備や学校菜園など課外活動のほか、日本との交流にも積極的です。「日本のみなさんと友情を結ぶことができて、とてもうれしいです。私の夢は、いつか日本の交流校を訪問することです。」と、笑顔のトンペット先生（右）。

「時間のあるときには、本を読むのが好き」というチャンヌアの子どもたち。東京都品川区杜松小の友達から、「ぎんなん」販売収益金寄付活動で図書セットと、時を告げる友情の鐘が贈られました。

チャンヌア小学校
児童代表　5年(当時)
ノイさん（左）

新しい学校を、自分の家のように大事に使います。一生懸命勉強します。学校を休みません。誘い合って学校に行き、友達の世話をします。日本の友達が支援してくれたチャンヌア小学校を、ずっとずっと使えるよう大事にします。みなさんのおかげで、私たちのチャンヌア小学校は、とてもすてきなよい学校になりました。
みなさんがしてくださったことを、ずっと心の中に大切にしまい、決して忘れません。

●ワンコイン・スクールプロジェクト参加校●

【福島県】矢祭町立東舘小学校
【東京都】品川区立杜松小学校/武蔵村山市立第八小学校/武蔵村山市立第十小学校/町田市立南大谷小学校/ドルトンスクール東京
【長野県】長野市立大岡小学校
【静岡県】函南町立桑村小学校
【三重県】津市立高野尾小学校
【福井県】鯖江市立河和田小学校/勝山市立村岡小学校/坂井市立高椋小学校/坂井市立丸岡中学校 / 坂井市立丸岡南中学校
【岡山県】倉敷市立柏島小学校

「いわきから　日本へ・世界へ・未来へ」いわき生徒会長サミット
タイ　ワンコイン・スクールプロジェクト

「東日本大震災のときに世界からいただいた応援への感謝の気持ちを、次世代を担う自分達が原動力となり、いわきの復興と元気を発信することで世界に伝えたい。」という想いから、福島県いわき市の中学生によるタイ山岳部への学校支援（ワンコイン・スクールプロジェクト）が決定しました。「このプロジェクトを通して、学校・そしていわき市の中学生同士の結束力が増す＝いわき市の復興につながる。」「活動を世界に発信することで、いわきは元気、復興しているとわかってもらえる。」

錦中学校は、学校オリジナルの「頑張りカード」を作成。学習・生活・部活それぞれの分野で、一人一人が自分の目標と目標金額を決め、達成した分を寄金としています。草野中学校では、頑張り活動を通して「詩」や「合言葉」が生まれたそうです。小川中学校は、達成したカードを学校の形に貼って掲示。平第三中学校は、生徒が原稿を準備し、活動を周知。小名浜一中学校は、震災後から交流を続ける京都市西賀茂中と「コラボTシャツ」を作成。両校がバザーで販売、西賀茂中の売り上げは義援金に、小名浜一中の売り上げは、タイの学校建設資金に寄せられます。 11月10日、それぞれの活動を発表する中間報告会が行われます。

タイ・ファイコンでも、9月より整地作業が開始。雨季が終わり次第、着工・建設が始まります。タイといわきの生徒の交流で、お互いの学校や夢を語り合う機会も作っていきます。

生徒会長サミット
全体ミーティング

市内４４の全中学校が参加。高校1年生のシニア会員が司会進行をつとめ、自主的に運営。

目標達成者には、生徒会長より賞状→

「学校」の形に頑張りカードを掲示

教室が足りなくて・・・

カレン族の織物を学ぶ

ファイコン中学校はこんなところ・・

山が連なるタイ北部、チェンマイ県オムコイ地区ヤンピエン郡ファイコン村は、雨期には道路がぬかるみ土砂くずれで外部とのアクセスが途絶えてしまいます。山岳少数民族カレン族が、主にお米や野菜を栽培し、森の恵を受けながら、昔ながらの自然と共に生きる暮らしを送っています。

ファイコン校では、近隣12ヶ村からの児童・生徒が寮生活を送りながら学んでいます。（幼稚園から中学3年生まで約400人）それでも教室の数はまだ十分ではありません。床もなく、雨もりするような校舎で勉強せざるをえない子どももいます。ファイコンの中学生は、「自分達がこの地域を発展させるんだ」という強い志で、厳しい環境の中でも未来のために勉学に励んでいます。 いわきの中学生の取り組みを知り、「自分たちも一緒に頑張りたい！」と、カレン族の手織物やコーヒー栽培で資金を集めています。

新校舎完成予想図

タイ　山の学校　ファイコン校の日々　（協力：ラックスタイ財団　翻訳協力：タイ在住　Oさん）

いわきの中学生が応援するファイコン校に5年前から赴任、子どもたちと寝食を共にして指導するメーン先生。
日々の様子を、先生の手記より抜粋してご紹介します。

◆仏暦2550（西暦2007）年1月11日

学校までの道程は、一緒について来てくれた両親と叔母はもちろん、私が想像していた以上に険しい山道でした。その険しさは、私の叔母が「チェンマイにまだこんな道があるの？！」と、思わずため息をつくほどでした。

ついに、やっと、辿り着きました！ 学校を目の前にして、とても清々しい気分になり、自然に目頭が熱くなってしまいました。そうです、子ども達みんなが、私のような新しい先生がやってくるのを、ずっと待ってくれていたのです。

私はちょうど食事中の子どもたちの所に行きました。食卓なんてありません。ゴザに座って食べています。山岳地帯で暮らす子どもたち、着ている服は、汚れていました。

これを見た母と叔母が私に質問しました。

「あなた、ずっとここに居ることができるの？」

私：「気持ちをふっきって先生としてやって来たんだもの。教える子どもがいれば、何処だって居られるわ。」

その一方、心の中で、「ここだって、村の人や他の先生方、それに子どもたちだって現に暮らしているじゃないの。私にだって暮らせるはず！」と自分自身に言い聞かせました。

午後になり、父と叔母は帰路につきます。淋しくて今度は本当に涙が流れました。「私達は無私の行為で子ども達に知識を与える者。我慢しなさい」と、父と叔母が元気づけてくれました。私は二人と抱き合いました。このようなシーンは二度と起こり得ないでしょう。なぜなら、いまの今まで私はこんなに遠く家を離れた事などなかったから・・・。山の頂上の学校に、今晩はいっしょに泊まってくれる母と私を残して、みんな帰っていきました。

メーン先生

◆仏暦2550（西暦2007）年1月12日

今日は運動場で子ども達の前で自己紹介をしなければなりません。興奮しました！しっかり紹介できたかな？言い間違えなかったかな？子ども達は理解できたかな？

子ども達は、私を“新しい先生”とか“メー先生”と呼びます。でも、本当は“メーン先生”なのよ！！

私の受け持ちは1年2組です。子ども達が話している言葉（カレン語）は、私にはまだ理解できません。子どもの名前を呼ぶのもむずかしい。多分まだ幼いからでしょうが、受持ちの子ども達はわんぱくだけど皆とてもかわいいです。国の公用語であるタイ語の、8つの母音を最も力をこめて教えます。なぜならここの子ども達は文字が読めません。私はこの子達が読み書きができるようになるために、全力を尽くします。ここに先生として来たんだもの・・・・　「メーン先生、ファイト！ファイト！」

そして、今一つの問題、私の受け持つクラスには、学習机がありません。かわいそうに思うけど、みんな床にゴザを引いて文字を書いています。肩が張るでしょうに・・・・

◆仏暦2550（西暦2007）年1月17日

ファイコンに赴任して2週間が経ちました。今日は休日です。しかし私は家に帰りませんでした。ラックスタイ財団（タイにおける、パートナーNGO）のお兄さんたちが建ててくれた小さな小屋に座って、静かに本を読んで過ごしました。涼しくて透明な時間が流れます。少し時間がたった頃、ティソーと言う名の男の子と話しました。

ティソー君：「先生、お母さんが恋しくない？」
私：「もちろん恋しいわ！こんどは私から質問していいかしら。ティソー君はどう？」
ティソー君：「ぼくも、恋しい。」
私：「なら、なぜうちに帰らないの？」
ティソー君：「だってぼくんちはここから10km以上も離れているんだもん。歩くほかに帰る方法はないし、とっても遠いんだもん、歩きたくない。」

その答えを聞いて、私は思いました。この子はなんて気丈なんだろう。家元を離れて4年。今だって、まだたったの小学4年生なのに、小柄な子どもなのに、やむを得ず家から、そして、お母さんから離れなければならない。それにひきかえ、私はもう25才。母と暮らして25年、そろそろもう大人になる時が来たんじゃない？それをこの子が教えてくれた！今日、私に新しいカレンの友達ができました。

◆◇ベトナム＆ラオスからの交流作品紹介◇◆

＊＊＊日本のお友だちのみなさんへ＊＊＊

わたしの名前は、Ｙ・レーです。ベトナムのコントゥム省トゥモロン郡のダックロオン小学校の2年Ａ組の生徒です。なわとびが好きです。おうちではお母さんが床をはくのを手伝っています。毎日、とり肉料理を食べたいです。わたしの家は貧しいですが、学校で10点満点を取りました。両親がよろこんでくれると、わたしもうれしいです。

2年生たち

わたしの国はとても美しいです。たくさん木があって、広い田畑では牛が草を食べています。学校から帰ると、お母さんから水牛を田畑へ連れていく仕事をまかされます。

家ではいつも何をしていますか。みなさんのお母さんや国のことを、わたしたちに教えてくださいね。みなさん、勉強がんばってくださいね。みなさんがいつも楽しくいられますように。

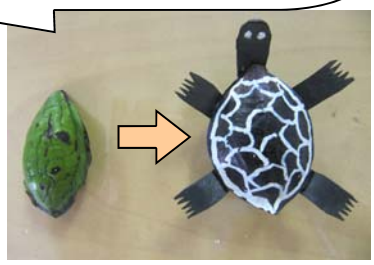
2012年5月　ベトナムにて
ダックロオン小学校２年　Ｙ・レーより

チュー・オレン小学校
→　東京都高輪台小学校

こんにちは！
私の夢は学校の先生になること。大きくなって、算数を教えているところを想像して、絵を描きました。いい先生になれるように、一生懸命勉強しています！日本のお友だちの夢はなあに？
ウエン（５年生）

タンホアＡ小学校
→　東京都国立第七小学校

木の実に色を塗り、亀に変身。マグネットとして使える優れものです！



フートューＡ小学校
→　福井県河和田小学校

いろんな詩を紹介してくれました。山奥の村でつり橋を渡る2人の姿が、目に浮かびます。

編集委員メンバー

ぼくの先生が初めて村に来た時
つり橋がいつも揺れているから
先生が渡ることができなかった

「先生！僕の手をつないで！
どんなに谷が深くても心配ないよ　一緒にわたろう！」
つり橋さんお願い
もし、つり橋さんも喜んでいるならば、揺れないでいてね

僕の言うことが分かるように
山の中で、つり橋はじっとしていた
つり橋を渡りきって、振り返ってみると
先生がホッとしていてよかった

解説：ベトナムの山の方では、竹で作られた橋があります。とても揺れるので、初めてくる人は怖くて渡れません。

ラオス・ピアラー小学校
→　津市高野尾小学校

「高野尾の友達の顔が、見たいです。」
トーンさん（3年生）
「優しい気持ちを贈ってくれて、ありがとう。
私たちは本当にラッキーです。」
トーウさん（3年生）

日本の基本情報や、交流校の紹介をする先生方（ポンタンにて）

●トピックス●

◆株式会社キッコーマン様のご協力

5月より、野田市「もの知りしょうゆ館」にて、ちくぬいボランティアさんの手によるラオス手織布小物の展示販売が開始。広報の赤松好衣さん（写真下：右）を中心に、社内ボランティアさん20数名が活動しています。8月には野田と東京にて社内販売会を開催、男性社員からの評判も上々でした。
また、交流作品の翻訳ボランティアさんも多数手をあげてくださり、子ども達の手紙などの英・和・タイ語訳をお手伝い下さっています。

◆ケーブルテレビ J:COM 「つながるGO！GO！ホットチューズデー」に、AEFA理事長が生出演（6/5）。Youtubeからもご覧いただけます。
http://www.youtube.com/watch?v=O7XetKRcDhY&feature=plcp

◆イラストレーター・かとーゆーこさんとボランティアさんの協力で、オリジナル絵本「タバン君の友達」と、手作り一筆箋が完成しました。

◆在外教育施設（海外の日本人学校等）に派遣される先生方の研修、『在外教育施設派遣教員登録者研修会』（主催：文部科学省）が8/16に開催。今年で5回目となる講義「海外日本人学校派遣教員に望むこと～商社員人生とアジアで学校を創るボランティア人生からの私的提言～」を、AEFA理事長が行いました。

◆「国際開発ジャーナル」2012年10月号及び11月号、「国際協力ガイド2014」に日本財団とAEFAのベトナムプロジェクトが登場。
日本の学校の交流現場も、追跡取材されています。10月号の表紙は、日本の友達から贈られた手作りブーメランで遊ぶ、チュー・オレン校の子どもたち。

◆交流校　出前授業　200回を超えました

アジア現地の様子を伝えるAEFAスタッフによる出前授業が、のべ200回を超えました。9/13に港区御田小で行った授業に、日本に留学中のマイ・スアン・カンさんが講師として参加。クイズを交えて楽しくベトナムについて学びました。（カンさんのお父さんは御田小学校の交流校であるレバンタム小学校の校長先生です）

第７回AEFAフォーラム　速報！
（詳細は、別途ご案内いたします）

＊教育フォーラム
2012/12/25（火）午後
場所：日本財団ビル［東京都港区赤坂］

＊ご支援者様、会員の集い
2013/3/23（土）予定
テーマは、「夢の語り場」。
共に見守り、様々にご支援くださるみなさまと、子どもたちの未来と志をつくる取り組みを共有したいと考えます。

◆ AEFA2012　2012.4～2012.10 ◆

4月　●いわき生徒会長サミットにて、タイにおけるワンコイン・スクールプロジェクトへの参加決定(21日)
5月　●ラオス・チャンヌア小学校(ワンコイン・スクール第2校目)開校(2日)
●いわき生徒会長サミット、中学校7校にて出前授業(28～30日)
●キッコーマン株式会社「もの知りしょうゆ館」にてAEFA活動紹介コーナーと、ちくぬいボラさんによるラオス手織布小物の展示及び販売開始
6月　●ケーブルテレビJ:COM　谷川理事長　出演「つながるGO！GO！ホットチューズデー」(5日)
●いわき生徒会長サミット臨時ミーティング(30日)
7月　福井県交流校にて出前授業(11～13日)
8月　●文部科学省「在外教育施設教員登録者研修会」谷川理事長講演(5回目)(16日)
●ベトナム・ルオンテーヴィン小開校式(24日)
●AEFAホームページ　改訂
9月　●AEFA小話(ベトナム編・ラオス編・タイ編)完成
●「国際開発ジャーナル」2012年10・11月号の2号に亘り、及び「国際協力ガイド」に日本財団とAEFAのベトナムプロジェクト紹介が掲載。
10月　●ベトナム・ゴックトゥ小学校ダックトン分校開校式(2日)ベトナム・ルホンフォン小学校ダックルン分校開校式　(3日)
●ベトナム・チェウティチン小学校開校式(5日)
●ベトナム教育省副大臣と面談(谷川理事長)

●ご支援一覧（2012.4～2012.10）●　（敬称略）

Supported by 日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

2012年度は日本財団より　ベトナムで14校の支援をいただいております。
（イエンバイ省1校、ソンラ省2校、ダックラック省1校、コントゥム省7校、クアンナム省3校）

学校建設支援	肥後　良輔	ラオス　ラック33小学校	4教室+0.5教員室
	国際学校建設支援協会 ＆学生団体AWS	ラオス　フアパコー小学校	2.5室
インフラ支援	郡山南ロータリー・クラブ	ラオス　フアパコー小学校	水タンク、水道敷設
	中村　洋子	山岳地域の学校	井戸
建設校 見守り基金	株式会社近江兄弟社	ラオス　カニョンケクナイ村及び タオイ郡パチュドン分校	教育支援全般
ソフト支援	アーク -青い地球の子供たち-	ベトナム　ダクハ小学校/ルホン フォン小学校/ポコ小学校	文房具など教材、サッカーボール
	伊藤　美智子	ラオス　ドンニャイ中学校	きのこ栽培、学校菜園活動、電気敷設
	神﨑　敏彦	ラオス　ビエンカム小学校	教材
	中西　重敏	ラオス　ラオガム小学校	教科書、教材、パソコン
ラオス先生基金	小林　宏 / 俵木　妙子 / 滝澤　登 / 廣部　武 / 藤本　さだ子/ 田中　彌 /内田　安子		
ラオス 教員養成短大 先生になるための 奨学金	福島南ロータリー・クラブ（クユム・リオサイヤシット君、ダム・サモンナラー君）/ 中国料理　珍満・小平　一夫（サヴァン・サイポンティラッ君）/ 楽動整体・小林 弘英（モム・サイヤサック君）　/　内田　安子　/　キユーピー株式会社 / 渡辺伊佐男・国際学校建設支援協会　（キー・サイマギンさん）　/ サロン・ド・ヒロコ / 津金　睦子 / 田中　泰子 / 下岡　克幸		
黒板セット	佐藤　正昭 / 近江　豊 / 中島　隆一　/ 俵木　妙子		
交流支援	久保　義昭 / 小島　美穂子 / 北條　友梨 / 田渕　伸子 / 飯村　治 / 逆井　利夫 / 祐代　敦子 / 渋木　嘉孝 / 星田　啓子 / 長谷川　澄子 / 蒲原　啓二 /猪口 勇		

ボランティアのみなさま

（敬称略）

いつも活動へのご協力、ありがとうございます。
赤松　好衣 / 伊東　ヌニー / Oさん（タイ在住）　/ 笠原　寛子 /
加藤　祐子 / 上妻　秀朗 / キッコーマンの皆様 / 工藤　卓二 /
グエン・ティ・ホン・フォン / グエン・ティ・ビック・ヴァン /
小垣外明子　/　五嶋　礼子 / 斎　里美 / さつき里香 / GYPSY QUEEN /
鈴木　智美 / 鈴木　博康 / 染谷　和美 / 高田美和子 / 高橋　正子 /
田宮　雅子 / デール・ストロンバーグ / 中島　邦子 / 長原　歩・紀子 /
成島志帆子 / 錦織　香 / 西原　珠四 / 八戸　敬 / 早川　健治 /
マイ・スアン・カン / 三浦　航 / モニカ・パロマ / 箭内　克俊 /
山下　直子 / 横瀬　定且 / 吉村　彩 / 渡辺　智子

新入会員のみなさま

（敬称略）

ご支援、ありがとうございます。
石沢　卓也　井上　一馬　河西　康代
神﨑　敏彦　久保　義昭　逆井　利夫
佐藤　和幸　菅野　静二　鶴　孝志
中村　洋子　肥後　良孝　前岡　一夫
前岡　啓子　松葉　禎之　宮下　辰一
柳島　貞子　和田　晋彬
●法人会員
株式会社ホームページ

認定ＮＰＯ法人　アジア教育友好協会　AEFA（アエファ）　Asian Education and Friendship Association
〒105-0014　東京都港区芝3-3-10　芝園オーシャンビル8Ｆ
TEL 03-6426-0720　FAX 03-6426-0721　Email: asia@nippon-aefa.org　URL:http://www.nippon-aefa.org